

来日控える技能実習生へ 「自立支援介護」伝達

ベトナムでの入国前講習に講師派遣

江別・北叡会

道内でも技能実習制度を活用した外国人介護人材受け入れが進む中、政府のアジア健康構想に基づく人材還流の環境で、来日を控える技能実習生への入国前講習がベトナムで開かれ、江別市内で特養夢あかりなどを運営する社会福祉法人北叡会から講師が派遣された。同法人が実践する自立支援介護の技術や考え方を伝え、実習生のモチベーションを高めた。北叡会は講習を通して優秀な人材に触れ、2019年度からベトナム人実習生受け入れ方針を固めた。



ベトナムの首都ハノイで4月に開かれた入国前講習は、政府のアジア健康構想の下、竹トシエアリング(東京)

1月頃になる見通し。

受講したのは、既にベトナムの首都ハノイで4月に開かれた入国前講習は、政府のアジア健康構想の下、竹トシエアリング(東京)1月頃になる見通し。

日本での実習先が決まり入国を待つ24人。日本自立支援介護・パワリーハ学会認定講師の吉谷敬北叡会総合施設

語能力は技能実習要件を持っていて、時給70円程度のアルバイトで朝から夜まで働く若者が多い「看護師は需給のミスマッチが起きており、仕事に就けない有資格者が職を求めている」などの実情が分かったという。

勤勉で看護師資格保持など優秀な人材

19年度から受け入れ方針固める

内孝仁国際医療福祉大学院教授らと協力し自立支援介護に特化した技能実習生受け入れ

都港区)が企画・調整したプログラムで、18年

熱心に説明を聞く実習生Ⅱベトナム・ハノイ 受講したのは、既に

熱心に説明を聞く実習生Ⅱベトナム・ハノイ 受講したのは、既に